



日歯発第1765号  
平成23年2月22日  
(研究機構扱い)

社団法人全日本病院協会  
会長 西澤 寛俊 様

社団法人 日本歯科医師会  
会長 大久保 満 男  
日本歯科総合研究機構  
機構長 山 科 透



日本歯科医師会公開シンポジウム  
口腔管理（口腔ケア）とインフルエンザ対策  
へのご周知方協力のお願について（依頼）

平素本会会務運営にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、日本歯科医師会・日本歯科総合研究機構では一昨年の新型インフルエンザの流行を機に、インフルエンザウイルスと口腔内細菌の関係や、口腔管理（口腔ケア）等の手段によるインフルエンザ予防効果に関する研究を行っており、その成果を公表するとともに、日常生活における口腔管理（口腔ケア）をさらに推進し、もって、インフルエンザの予防啓発につなげるべく、別紙のとおり公開シンポジウムを開催いたします。

つきましては、本シンポジウムのより一層の充実を期したいと存じますので、貴職関係者へのご連絡を賜れば幸いに存じます。

別添

- ・ シンポジウム開催要項
- ・ ポスター
- ・ 参加申込書

日本歯科医師会公開シンポジウム  
後援:厚生労働省・日本医師会

## 口腔管理(口腔ケア)とインフルエンザ対策 公開シンポジウム

日時:平成23年3月5日(土)  
午後1時30分~5時30分(開場13:00)  
場所:歯科医師会館1階大会議室  
(東京都千代田区九段北4-1-20)

### 趣旨

近年、口腔管理(口腔ケア)は、誤嚥性肺炎だけではなく、季節性インフルエンザの発症を抑える可能性があることが報告されている。その効果をはじめ、さまざまな観点から検証するため本会に研究チームを設置した。過去の知見とともに、研究チームの結果を公開し、日常における口腔ケアを推進することにより、インフルエンザ予防啓発の一助としたい。

### プログラム

#### I 特別講演(13:45~)

「新型インフルエンザ流行と我が国の対策」

田代真人(国立感染症研究所インフルエンザ研究センター長)

#### II 指定講演(14:30~)

1.「インフルエンザウイルス感染を活性化する宿主プロテアーゼと感染重症化の機序」  
木戸博(徳島大学疾患酵素学研究センター)

2.「慢性呼吸器疾患の増悪と感染症」

橋本修(日本大学医学部呼吸器内科)

3.「口腔ケアがインフルエンザ感染に与える影響」

石原和幸(東京歯科大学微生物講座)

4.「うがいによる風邪の予防」

川村孝(京都大学保健管理センター)

#### III 研究発表(16:00~)

1.「高齢者の口腔内環境と呼吸器感染症の関連」

—特別養護老人ホームにおける追跡調査から—

菊谷武(日本歯科大学)

2.「インフルエンザによる口腔内微生物叢の変化と口腔ケア」

花田信弘(鶴見大学歯学部)

3.「インフルエンザウイルスと細菌の相互作用」

清水一史(日本大学医学部)

#### IV 総合討論(17:00~17:30)

協賛:日本大学医学部「インフルエンザ重症化機序の解明」プロジェクト

お問い合わせ:日本歯科医師会 日本歯科総合研究機構

〒112-0073 東京都千代田区九段北4-1-20

TEL: 03-3262-9346

FAX: 03-3262-8810

日本歯科医師会 公開シンポジウム

「口腔管理（口腔ケア）とインフルエンザ対策」

《開催要項》

- 【開催日時】 平成23年3月5日（土） 13:30～17:30
- 【会場】 歯科医師会館 大会議室（東京都千代田区九段北4-1-20）
- 【主催】 日本歯科医師会・日本歯科総合研究機構
- 【後援】 厚生労働省、日本医師会
- 【協賛】 日本大学医学部 「インフルエンザ重症化機序の解明」プロジェクト
- 【参加費】 無料
- 【目的】 近年、口腔管理（口腔ケア）は、誤嚥性肺炎を防止するだけでなく、季節性インフルエンザの発症を抑える可能性のあることが報告されており、日本歯科医師会・日本歯科総合研究機構では、平成21年の新型インフルエンザの流行を機に、インフルエンザウイルスと口腔内細菌の関係や、口腔管理（口腔ケア）等の手段によるインフルエンザ予防効果に関する研究を行っております。過去の知見とともに、研究チームの結果を公開し、医療関係者及び国民一人一人の日常生活における口腔管理（口腔ケア）をさらに推進し、もって、インフルエンザの予防啓発につなげることを目的とするものである。
- 【お申込み方法】 別紙「申込用紙」により3月4日までに日本歯科総合研究機構に FAXでお申し込みください。ご参加いただける方への特段の通知は致しません。定員300名に達し次第締め切りとさせていただきます。
- 【お問い合わせ先】 日本歯科医師会・日本歯科総合研究機構

Tel 03-3262-9346

Fax 03-3262-8810

## 【プログラム】

開 会 山科 透（日本歯科総合研究機構 機構長）

挨 拶 大久保満男（日本歯科医師会 会長）

来賓挨拶 唐澤 剛（厚生労働省 審議官）

I. 特別講演(13:45～14:30) 座長 石井拓男(日本歯科総合研究機構研究部長)

新型インフルエンザ流行と我が国の対策

田代 真人(国立感染症研究所インフルエンザ研究センター長)

II. 指定講演(14:30～16:00) 座長 花田信弘(鶴見大学歯学部)、黒田和道(日本大学医学部)

1. インフルエンザウイルス感染を活性化する宿主プロテアーゼと感染重症化の機序(30分)

木戸 博(徳島大学疾患酵素学研究センター)

2. 慢性呼吸器疾患の増悪と感染症(20分)

橋本 修、権 寧博、松本 健(日本大学医学部呼吸器内科学)

3. 口腔ケアがインフルエンザ感染に与える影響(20分)

石原和幸(東京歯科大学微生物学講座)

4. うがいによる風邪の予防(20分)

川村 孝(京都大学保健管理センター)

III. 研究発表(16:00～17:00) 座長 石原和幸(東京歯科大学)、山本樹生(日本大学医学部)

1. 高齢者の口腔内環境と呼吸器感染症の関連(20分)

—特別養護老人ホームにおける追跡調査から—

菊谷 武(日本歯科大学口腔介護・リハビリテーションセンター)

2. インフルエンザによる口腔内微生物叢の変化と口腔ケア(20分)

花田信弘、西川智子、濱田良樹、倉内満佐子、志村智子、子島 潤(鶴見大学歯学部)、

清水一史、黒田和道(日本大学医学部)、川村 孝(京都大学保健管理センター)

3. インフルエンザウイルスと細菌の相互作用(20分)

清水一史、西川智子、豊澤恵子、芝田敏克、黒田和道、山本樹生(日本大学医学部)

IV. 総合討論(17:00～17:30) 座長 花田信弘(鶴見大学歯学部)、石原和幸(東京歯科大学)

閉 会

日本歯科総合研究機構行き  
(FAX 03-3262-8810)

日歯公開シンポジウム「口腔管理（口腔ケア）とインフルエンザ対策」  
申込用紙

日時：平成23年3月5日（土）午後1時30分～5時30分  
場所：歯科医師会館1階大会議室（東京都千代田区九段北4-1-20）

標記シンポジウムへの参加を希望します。

所属都道府県 歯科医師会	
ご氏名	
ご連絡先 (電話番号)	( )
スタッフ参加者 ご氏名①	
〃 ②	
〃 ③	
〃 ④	
〃 ⑤	

参加費：無料

定員：先着300名

※定員に達し次第締め切りとさせていただきます。

※スタッフもお誘いいただき差し支えございません。

問合せ／申込先

〒102-0073

千代田区九段北4-1-20

日本歯科医師会・日本歯科総合研究機構

TEL 03-3262-9346

FAX 03-3262-8810